



森ボラ通信

第18号 2003年 11月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区北1条東1丁目明治生命ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail : shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

「有明第二」と新規対象「藤野都市環境緑地」の視察

11月15日(土)、参加14名。次年度作業計画のために有明第二の間伐のやり方、材の搬出の方法を確認するため、入林しました。搬出ルートは確認できましたが、間伐材はあまり多くありませんし、幹も細いので、搬出するまでもないと思われました。むしろ、子供たちが林内で遊んでいる形跡がありましたことで、尾根道をつけて、崖側に安全柵をつける等の作業と、無立木地の植樹作業を次年度の計画に織り込む意見ができました。木漏れ日がさしはじめた林床にトドマツのあかちゃんがびっしり芽生えていたのにはびっくりでした。掃除伐の効果が1年目にして表れていました。

次年度から新規に取り組むことを想定して藤野都市環境緑地を視察しました。独立峰の山頂を含む全方位斜面で39haもの面積です。傾斜はきつく、地面は岩だらけで、水は自分の頭にかかる雨量だけしか無い状態なので、乾燥に耐え、倭性化した一木一草が貴重な被覆植生です。除伐の必要は無しと判断しました。頂上までの登山遊歩道をつけて景観を楽しめるようにすることは検討してみます。

インターネットホームページが出来ました

柴田久子さんの力作です。素晴らしいホームページができました。スケジュールの確認ができますし、緊急の連絡にも活用します。森ボラ通信も掲載します。会員以外のお友達にもご覧いただくよう紹介してください。

ホームページアドレス：<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

11月14日(金)参加22名。前回に引き続き、4林班の間伐をやりました。依頼された作業をほぼ時間内に完了しました。間伐材を林班外へ担ぎ出す作業は力仕事であるにもかかわらず、2台のチェーンソーの玉切りが追いまくられる状態で、チェーンソーの音が止まった時点で完了するという素晴らしさでした。マツヤニで衣服の肩や腕部分がベトベトになり、洗濯が大変と思われませんが、これは後で気がついたことで、やっているときは夢中でした。

11月定例幹事会

11月11日（火）、定刻開催しました。冬期活動方針の意見交換と確認。本年度の反省点を次年度に生かすことで、意見を交換しました。各森林毎に次年度にすべき仕事を話し合いました。計画に反映させます。会員の西野夫妻がインドネシアから12月20日に一時帰国しますので、忘年会は夫妻の参加が可能な12月25日、定山溪温泉で開催することになりました。

出席幹事:加治豊実、鎌田俊美、酒井和彦、芝恵三、関勘悦、千葉到、湊克之、松村清松、三浦裕、村上昭子

当別「フクロウの森」作業報告

11月8日（土）、参加19名。誘い合わせ方式で現地10時集合。冬の到来で寒い朝でしたが、元気印の会員が土曜日ものその、集まりました。1時間も早く到着した組は、キクイモ堀りをして、5kgほども収穫しました。森の作業は今期最終の位置付けで、片付けでした。切り残した間伐対象樹を伐採し、集材。メイン作業道の刈払いをして、来春に備えました。とつつきの林はすっきりしました。昼食はログの中で焚き火を囲み、暖をとりながらキクイモサラダの試食会となりました。シャキシャキした噛み応えで、くせの無い味。結構いける食べ物でした。

森林総研4林班間伐作業

11月6日（木）参加22名、7日（金）参加19名、2日連続で延べ41名が参加し、森林総研4林班へ小班の指定間伐をやりました。伐採すべき樹幹にピンクとブルーのテープが巻かれていました。伐倒後に正確な樹高を計るので、玉切りはなし。ピンクは枝払いをする。ブルーは枝をつけたまま。という注文でした。2m間隔に密植された25年生の人工林なので結構な太さと25mはあろうかと思われる樹高なので全部がかかり木となり、チルホルの出番の多い作業でした。後半はチルホルがおいつかないので、人間チルホールと称して、2~3人で力を合わせて根本を移動させて倒す力仕事となりました。2日で全部を倒しました。総研の担当技術者は、わが会員の仕事振りに驚いていました。「こんなに早く片付くなんて・・・」と感嘆していま

した。あとで全部の仕事のデータをいただいております。

冬期活動第一弾、11月30日（日）

木材加工業現場見学、栗山町「木の城たいせつ」参加者募集

【出発時間】 8時30分 東大通1丁目北電ビル南側（地下鉄大通駅、テレビ塔の創生川向い）

※自家用車乗り合わせです。

※昼食は先方で用意されます。

カンジキ作り参加者募集

【開催日】 12月12日(金)

【場所】 銭天山荘（札幌山岳会の山小屋）

【集合場所と時間】 JR銭箱駅 9時30分

【講師】 石狩森づくりセンター

※小屋で炊事可能なので、昼食はあたたかい豚汁をつくりましょう。

アンケート集計（11月18日現在）

1. 冬期勉強会講師引き受けOKの方々

麻生昭治、井口靖史、石島しのぶ、小野寺正義、加治豊実、酒井和彦、瀬川邦子、高野豊、西尾克彦、三浦裕、棟方鋼男

2. 忘年会 回答26人

参加する：22人 参加しない：4人

澄川整理作業の報告



10月30日（木）、31日（金）および11月1日（土）、西野第二の予定を変更したので3日連続で澄川に入りました。参加者は16名、18名、13名、延べ47名でした。主な作業はキノコのホダ木の冬囲いでしたが、これは半日程度で終わりました。沢沿いの低地に小さな苗床を作りました。自宅で育てた苗の越冬場所

です。マンションのベランダでは凍死しやすいので、森の中の雪の下で暖かく越冬させることを意図したものです。見落としを除伐し、伐倒樹の整理をし、雪解け時の沢水の増水で丸木橋が流失する恐れがあるので、沢の中の材木を撤去したりで、気持ちよい汗を流しました。

西野第二近隣住民環境調整が必要につき当分延期

10月29日（水）、天候不良のため作業は中止にしましたが、西野第二都市環境緑地に着手するにあたり、入林に先立ち隣接住民に「チラシ」を配りました。森ボラ活動に対して理解と協力をお願いしたものです。「チラシ」は柴田さんに作成していただきました。残念ながら、最寄の住民の一人が「ニセアカシヤであっても、伐採することには反対、蔓植物も風情がある。手入れの必要は一切なし」とのご意見でした。一方で「興味があるから、くわしい話を聞きたい」という賛成の雰囲気の話もありました。町内会長さんにお目にかかりまして、町内の総意をまとめていただくようお願いしてきました。したがって、手入れの着手を急がないことにし、急遽作業場所を澄川に変更しました。連絡不完全でご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。